

# 共助社会づくりに向けた心の醸成は

## 町長 自他の命を大切にする教育を推進する



録画を配信

### 共助社会づくり

**問** 町が課題として捉えている共助社会づくりに向けて、その心を児童・生徒へ醸成することが大切と思うが、いかがか。

**町長** 教育は未来への投資という姿勢で、さまざまな事業を積極的に進めさせていただいている。自他の命を大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進に取り組んでいる。**教育長** 家庭や地域とともに思いや経験を共有していくことが必要不可欠と考えており、地域、家庭、学校が、子どもを中心に置いて思いを共有し、共生社

会の実現に向けて心を育む教育にしっかりと取り組んでいきたい。

### 少子化の影響は

**問** 少子化が進む中で、児童会・生徒会活動などの、組織の運営を学べる多学年にわたる活動の課題をどう捉えているか。

**教育次長** 社会性やコミュニケーション能力が付きにくくなることが考えられる。そのため、自己の表現や発表の機会を設けることにより、自分の考えや感情をしっかりと表現できるたくましい心を育てていきたい。

### 不登校の改善対策は

**問** 成長してから引きこもりになるきっかけの一つとも考えられる不登校の改善対策をどうするか。

**教育長** 学校と教育委員会との連携を密にし、教育相談員やスクールカウンセラーなどと連携を図りながら、一人一人の実態に応じ、社会的な自立、進路支援、個別の対策を進めていくことで減少につなげていきたい。

### 通学班の安全対策

**問** 児童の徒歩通学において、少子化の影響により低学年だけの通学班になることが考えられる。安全対策をどうするか。

**教育次長** 影響が現れてきており、保護者の方に付き添いしていただいたり、心配な場合はスクールバスを利用していただいたり、き

め細かな対応を行っている。

### 充実した歩道除雪を

**問** 通学路となる歩道の除雪はどう実施されているか。また、充実した除雪をお願いしたいが、いかがか。

**建設課長** 延長で約25キロメートル実施しており、16の区と委託契約を結んでいる。出動の基準は、地区の判断により出動している。

**町長** できる限り登下校に間に合うようをお願いしているが、昨年のような豪雪においてはなかなか手が回らなかった。

また、除雪を担当している方に高齢の方が多いということも、地域の課題として捉え、最善の対応を検討していきたい。

### 18歳成人への自覚をどう促すか

**問** 民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられた。児童・生徒の自覚を促す対策をどうするか。

**教育長** 社会と結びついた具体的な消費者・金融教育などを行い、国の主権者として情報を正しく収集し、的確に読み解き、考察し、判断を下せる能力を醸成することが最重要と考え、さまざまな機会を捉えた取り組みを実践していきたい。



丸川雅春 議員

